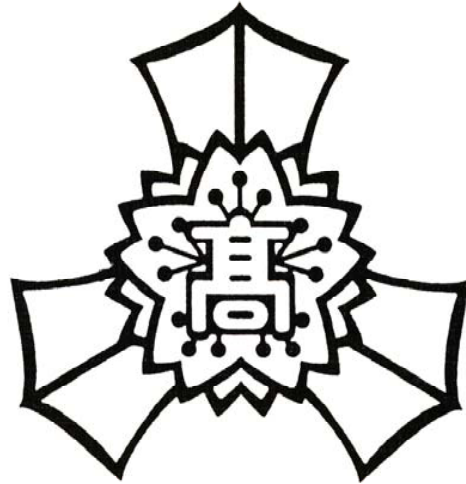


平成22年度

学校関係者評価書



宮崎県立延岡高等学校

◎ 4段階評価

4 = 良く出来た (期待以上)
2 = あまり出来なかった (やや期待を下回る)

3 = ほぼ出来た (ほぼ期待どおり)、
1 = まったく出来なかった (改善を要する)

評価項目	No.	評価指標	学校の自己評価結果コメント	評価		学校関係者 評価コメント
				自己 評価	関係 評価者	
学力 の 向 上	1	学校行事の精選及び計画的・効果的な運営、授業振替等の推進により適正な授業時間を確保することが出来たか。	・自習対策は十分に機能するようになったが、授業の振替によって、自習時間を減らす雰囲気を作る必要がある。 ・学校行事については、実施方法、内容の見直し、統合等により、更に行事の精選ができないか検討する。	3.3	3.1	<p>・総合評価が 3.1 でほぼ期待どおりという自己評価結果であったが、詳細に見てみると、それぞれの分野で、1. 全く出来なかった 2あまり出来なかったとする教員がおり、特に「普通科高校におけるキャリア教育推進プラン」関係では、20 % を超えることから、推進体制に見直しが必要であるというコメントは、適切である。</p> <p>・生徒が目指した進路の達成度が出ていない段階ではありますが（3年生）、全学年共に着実な学力アップがなされていると感じます。</p> <p>・全校的な把握はできていないものの、自分の子供、その友人等を見ていると、学習への意欲が格段に向上しており、学校の取組が十分に評価できます。</p> <p>・評価項目の4・6・7が重要だと感じております。先生方の自己評価が辛めだと思いますが、3.5位はあってもいいのではないのでしょうか？今の生徒はなかなか、自己決定が難しいと聞いておりますので、様々な情報を提供することが大切だと思っております。</p> <p>・主に自己評価書からの判断になりますが、おおむね学力向上につき頑張っていたいただいているようです。しかし昨年と同様の自己評価指標については、その点数が昨年より出来るならば上がって欲しいところではありました。そのためにも一つの方法論として、（この評価項目だけではありませんが）昨年度に自己評価の課題、改善を挙げられていましたが、それらについて今回どのように対処し、その結果どうであったかの視点が見られなかったりと（頑張っていたとしても）どれだけ学校が創意工夫を行ったかが十分伝わってこないのは残念でした。その点につき年度初めの目標としてしっかり掲げ数ヶ月ごとに評価を継続することが望ましいと思われました。また、「職員の共通理解を持つ場を設定する」との意見が見られましたが、逆に「職員の共通理解を持っていない」との認識がありそうですので、この点については、早急に改善すべき点と思われました。</p>
	2	授業第一主義に徹し、「チャイムと同時に授業開始」を遵守して、50分授業（含短縮授業）の完全実施を達成することが出来たか。	小テストがあるので着席しているが、時間前に教材が机の上に揃い授業を受ける状態や忘れ物をしない、提出物をきちんと出させることが学力向上につながる。	3.6		
	3	自宅学習時間の確保に努めさせ、調査を年3回実施し、学年の目標時間を達成することが出来たか。	・概ね達成された。時間目標を大切であるが、自学の内容の充実も図らなければならない。 ・自宅学習時間を確保させる手立てを共有する必要がある。	3.0		
	4	家庭訪問・三者面談、二者面談等を計画的に実施し、または日々の教育活動を通して生徒一人ひとりの目標達成を支援することが出来たか。	年間指導計画をもとに、時機に応じたポイントの提示が必要である。 副担任や学年団所属の先生方との連携を図ることが必要である。	3.1		
	5	3年間を見通した進路指導計画に基づき、全学年を通じて計画的な進路指導を、全職員の共通理解のもと実施することが出来たか。 ※（進路講演会・高大連携・卒業生と語る会などの開催を含む）	・職員が共通理解を持つ場を設定する。	3.0		
	6	進路に関する情報・資料を積極的に収集し、生徒・保護者、職員のニーズに応じた的確に提供することが出来たか。	・職員全体の共通認識を持つ機会を再度設定する。本校のベクトルを統一し、教科・校務分掌が同じ方向に向くようにする。 ・4月当初に1年間の流れがあると良い。 ・進路のデータベースの充実を図る。	3.0		
	7	日々の教育活動の中で、進路意識を形成する話しや取り組みを行い、進路意識の高揚を図ることが出来たか。	・小論文指導の在り方の再検討と本年度導入のディベートの改善が必要である。	3.0		
	8	県教育委員会指定の「普通科高校におけるキャリア教育推進プラン」を円滑に計画・実施することができたか。（インターンシップ等を含む。）	・本年度は係のみの活動になってしまったので、推進体制を見直す必要がある。 ・アンケートによる検証は随時実施している。	3.0		

評価項目	No.	評価指標	学校の自己評価結果コメント	評価		学校関係者 評価コメント
				自己 評価	評価 関係者	
豊 か な 人 間 性 の 醸 成	9	服装容儀、遅刻、礼儀・挨拶・言葉遣いの指導により、学力向上・規範意識の基盤となる生活指導を徹底することが出来たか。	服装・容儀は集会時の「服装検査」が定着しており、指導が徹底できた。さらに、来年度は服装規定を統一した「制服着こなしガイド」を生徒に配布して、自己管理の出来る生徒の育成を目指す。 遅刻防止…朝の職員の立ち番指導で徹底されている。 礼儀等…年度初めに「スクールマナー」に関して職員の間で共通理解を図り、常時指導の充実を目指す。	3.2	3.0	3.3
	10	交通安全や健康管理等自己の安全に関する指導を計画的に実施することにより、規範意識を育てることが出来たか。	<交通安全>警察官を講師にしての「交通安全教室」の開催や、警察と連携して「イエローカード」を活用した安全意識の喚起を図った。 事故絶滅に向けて継続的な取組が必要。 生徒の交通安全委員会の活動…ポスターを作成して交通安全意識の喚起や「施設調査」を実施し、継続して行く。 <健康管理> 諸検診の結果、「治療勧告書」を出し、治療の結果は「治療報告書」が提出されており、自己管理の意識の高さが維持されている。 また、生徒の保健委員会が「保健だより」を発行しており、健康管理の意識を高めることに効果を発揮しているので、継続したい。	2.9		
	11	学校行事への積極的参画を促進することにより、生徒の自主性を育てるとともに社会性を育成することが出来たか。	本校最大の行事「萌樹祭」は、口蹄疫のため生徒・職員のみで開催となったが、生徒実行委員会を中心に運営することが出来た。他の行事でも、生徒の自主性を育てる活動が出来た。 来年度は、3年生の演劇の校外練習を廃し、校内活動のみで充実を図る。	3.2		
	12	部活動指導において、その活性化に努めるとともに、適切で効果的な活動を推進することにより、向上心・責任感・忍耐力を育成出来たか。	部員不足による休部（新体操・柔道・空手）が発生した。来年度以降の課題：延岡西高校体育館・グラウンドが使用できなくなったことにより、施設利用の調整と部活動の精選（統廃合）が必要である。	2.9		
	13	図書館利用を促進するとともに朝の読書を充実させて本を読ませ、心を耕し他を思い遣る心を育てることが出来たか。	本年度調査を実施し、生徒の読書形態は図書館から借りた本だけでなく、自分で購入したり、友人から借りて読書している実態が判明した。 また、図書館利用の促進のために、外部の方による推薦図書を紹介も行う。	2.7		
	14	人権教育を計画的に実施し、人間尊重について自覚を高めるとともに、人間としての在り方生き方について深く考えさせることが出来たか。	本年度は、学年の状況を把握するために担当者が学年会に出席し、教材を選定した。今後の課題・改善点はより良い教材の研究・提供すること、生徒には事前にアンケートを実施し、現状を把握しニーズに応じた人権教育を実施することである。	3.0		

評価項目	No.	評価指標	学校の自己評価結果コメント	評価		学校関係者 評価コメント
				自己 評価	関係 評価者	
教職員の 資質向上	15	授業公開や研究授業を通して、その検証に基づいて指導方法の工夫・改善を図りすべての生徒にとって分かり易い授業を行うことが出来たか。	・他教科の研究授業への参加者が少ないので、もう一度方法を検討し、効果が上がるようにする。 ・授業改善を進めていく雰囲気がある。	3.1	3.0	3.2
	16	生徒による授業アンケートを実施し、その分析・改善策提示を行い授業改善に努め、すべての生徒にとって分かり易い授業を行うことが出来たか。	高い評価を得ているが、生徒の学力向上に直結していない面もあるので、アンケート項目を検討し直す必要がある。	3.1		
	17	校内職員研修会の時期・回数は適切であったか。また、内容の充実によりスキルアップを図ることが出来たか。	研修会後のアンケートを分析し、生徒・職員の意見を取り入れ、来年度に向けてニーズに応じた研修会を行う。また、講師選定の情報を入手し、より良い研修会を実施する。	3.0		
地域信頼の 獲得	18	P T A行事への保護者の参加を推進(または奨励)するとともに、所期の目的を達成し、学校への理解と協力を得ることが出来たか。	・さらに学校行事への保護者の力を活用出来れば、職員負担の軽減や一体感の醸成にもつながる。(駐車場整理や修学旅行時の送迎車の誘導)	3.1	3.2	3.7
	19	学級通信・学年通信、進路だより、P T A新聞・のべたか通信等の内容充実を図り、情報を発信し、本校への理解を高めることが出来たか。	・満足できる成果を上げているので、いかに維持して行くかが課題。職員の負担軽減が可能な方策はないか検討。	3.3		
	20	オープンスクール、中高連絡会、中学校訪問、学校紹介パンフレット、ホームページ等により広報活動を積極的に行い本校への理解を促進することが出来たか。	・満足できる成果を上げているので、いかに維持して行くかが課題。職員の負担軽減が可能な方策はないか検討。	3.3		

- 学校運営上の問題：
- 1 研修会等への参加状況（年休等）
 - 2 4段階評価で「2」または「1」という評価をしている職員への指導について
【4】家庭訪問・面談の計画的実施【9】日常的な進路意識の形成の指導【10】規範意識の形成の計画的指導
【15】分かり易い授業が出来ていない。
 - 3 20の評価指標は適切か？